

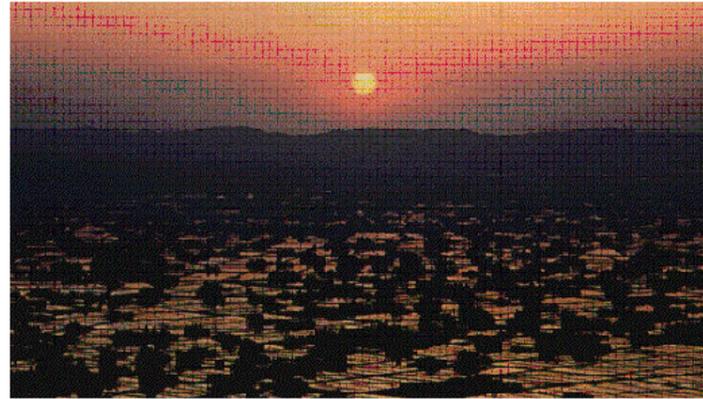
田園空間整備事業となみ野地区実施計画の概要

砺波平野の散居村の現況

- 農業が育ててきた人と自然との共生の姿 -

散居景観は日本の美しい田園風景
貴重な生活空間を形成する資産
散居村で営まれている自然循環型の暮らし
散居村が育む多面的な機能

- ・ 自然環境（エコトープ）を形成する機能、災害防止機能
- ・ 生活のための用材等の提供機能
- ・ 教育の場としての機能
- ・ 美しい風景としての機能（安らぎを与える散居の景観）



となみ野散居村の将来像

となみ野散居村
- 水と緑と人が共生する田園空間の創造 -

歴史と伝統的な文化（散居景観、屋敷林、伝統的家屋等）が息づき
水と緑溢れ、住民も訪れる人も共に楽しめる田園空間を創る

砺波平野の散居村の姿が、後世に残すべきすばらしい財産であることを認識
「自然との共生」「地域資源の保全・活用」「住民内発型の活動」により、美しい散居村の風景を保全・創造

課題

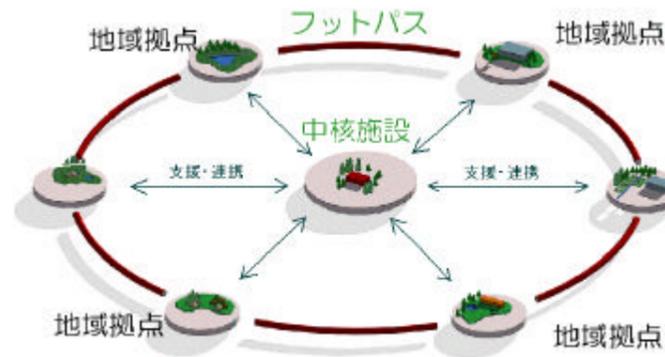
屋敷林の減少など、散居村の風景が崩れはじめており、早急な対策が必要

生活様式・住民意識の変化や、維持管理費を軽減するため、屋敷林や伝統的家屋が減少
都市的土地利用の拡大による住宅団地の造成、工場の建設
近代化にともなう利便性や効率化の追求により、画一化した水路等

基本方策

「美しい農村地域全体が博物館である」との考え方にもとづき
全国のモデルとして、散居村の保全・整備を図るとともに
地域住民内発型の活動により
美しい散居村の文化を未来の子供たちに伝える

地域資源や農業農村の多面的機能を再評価し、保全・活用
農村でのライフスタイルが、豊かで価値のあるものであることを、認識できるような環境づくり
住民活動を支え、みんなが学び合う「場」の形成
（中核施設（コア）、地域拠点（サテライト））
新しい散居村を支える様々なしくみの提案（ソフト）
新しい散居村を創りだす様々なかたちの提案（ハード）



施策

ソフト活動とハード整備のネットワーク化を図り
住民内発型の散居村保全活動を砺波平野の全域に展開していく

ソフト活動

屋敷林

- ・ 維持保全を担う人材の発掘・登録・育成・組織づくり
- ・ 屋敷林の維持保全のためのサポート・システムづくり

伝統的家屋

- ・ 住み心地を考えた新モデル家屋への改修方法の検討等
- ・ 歴史・文化資源（文献資料、民具等）の整理・活用等

景観

- ・ 景観保全のための方策づくり

住民への普及・啓発活動
都市住民に対する、美しい田園空間の提供
地域拠点を活用したソフト活動の展開
各地域の文化活動の連携

ハード整備

散居村保全モデルエリア

- ・ 保全活動型（砺波地区）
散村地域研究所やボランティア団体等の人材・実績を活用し、砺波平野の散居村保全活動や情報発信等の中核施設を整備
- ・ 資源活用型（福野 - 井波地区）
自転車道を軸に、散策路により、散居村に点在する巖浄閣、高瀬神社、高瀬遺跡等の地域資源を結び、見て楽しむ地区として遊歩道等を整備

地域拠点

- ・ 農村づくりのモデルとなるよう、砺波平野に点在する地域資源を活用し、景観保全や自然との共生、歴史的文化資源等に配慮した各種施設を整備